

若者を林業界へ！ 高校生による気仙地方林業職場体験会について

1 次代を担う人材の確保について

気仙地域は、豊かな森林資源を有し、主要樹種のスギを中心に素材生産が盛んに行われております。

一方で、林業事業体は、高齢化が進み、年々労働者数が減少しており、次代を担う人材の確保が課題となっております。

林業・木材産業の担い手確保対策のため、気仙地方の林業・木材産業の事業者等で構成する気仙地方林業振興協議会の主催により、高校生を対象とした林業職場体験会を開催したので概要を紹介します。

2 林業職場体験会の概要

- (1) 実施日：令和4年10月25日(火)
- (2) 場所：大船渡市三陸町地内の間伐団地
- (3) 参加者：住田高等学校
普通科2年生31名
- (4) 受入事業体：気仙地方森林組合
- (5) 体験会内容
 - ア 林業用機械操作体験
ハーベスタ、グラップル、フォワーダの3種類の機械による玉切り・集積、材の移動・積込み、走行の操作
 - イ 測量体験
レーザー測量機を用いた森林外周部の測量
 - ウ ドローン操作体験
 - エ ドロガー操作体験
- (6) 参加者の感想等

「林業に少し興味を持てた」、「林業は機械化が進んでいると知り驚いた」、「測量の仕事をわかり良かった」との

感想があり、操作は難しかったものの普段できない体験ができ面白かったという感想が多いようでした。

3 今後に向けて

今回、林業用機械操作体験で1人15分程度の時間を取りましたが、1機種だけの体験となった生徒もおり、体験の人数と時間配分調整が今後の課題となりました。

引率の先生からは「生徒の反応は良好で、今後の進路活動に生かしたいと考えております。」とのお話をいただきました。

当センターでは、今後も気仙地方林業振興協議会と連携し、林業・木材産業の人材確保のため、次代を担う若者の地元定着につながる取り組みを継続していきたいと考えております。



林業用機械操作体験



レーザー測量機での測量